

放射線医学に関する教材作成

平成 28 年度改訂版 医学教育モデル・コア・カリキュラムと収録予定の講義のテーマ

E-6-3) 放射線リスクコミュニケーション

学修目標

1. 患者と家族が感じる放射線特有の精神的・社会的苦痛に対して十分に配慮できる。
2. 患者の漠然とした不安を受け止め、不安を軽減するためにわかりやすい言葉で説明でき、対話ができる。

ご講演者（ご所属）

- 12/25、神田 玲子 先生（放射線医学総合研究所） タイトル「放射線リスクコミュニケーション～実践におけるヒント～」
- 11/26、村上 道夫 先生（福島県立医大） タイトル「医療者に求められるコミュニケーション」

E-6-4) 放射線災害医療

学修目標

1. 内部被ばくと外部被ばくの病態、症候、線量評価、治療を説明できる。
2. 放射線災害・原子力災害でのメンタルヘルスを説明できる。

ご講演者（ご所属）

- 11/26、谷川 攻一 先生（福島県立医大） タイトル「これからの原子力災害医療体制～福島第一原子力発電所事故の経験を踏まえて～」
- 11/26、前田 正治 先生（福島県立医大） タイトル「原発事故とメンタルヘルス」